

PTA活動紹介		高P連受付番号	2-4
PTA(学校)名	愛知県立豊明高等学校PTA		部門No.
	2(委員会活動)		
活動テーマ	文化祭へのPTA参加(体験講座、食品バザーの実施)		
キーワード	保護者の学校行事参加	生徒との交流	コロナ禍後のPTA活動
開催日	令和5年9月13日(水)		
場所	愛知県立豊明高等学校3K・3L教室、4K教室		
時間	午前9時から午後1時30分(体験受付は午後1時締切)		
参加者	保護者35名、生徒150名程度(体験講座、食品バザー合わせて)		
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍後の、PTA活動を模索する。 ・PTA活動を通して、保護者同士がつながりを持つ。 ・高校生という思春期を迎えた子どもとのコミュニケーションを図る一助とする。 		
活動ポイント	小物づくりを得意とする理事の方を中心に、保護者同士協力して体験講座を開催する。高校生という年代で親と接点を持ちたがらない子どもでも、自分の親以外の大人とは、わだかまりなく接することができることから、保護者も高校生との接点をもつ機会となる。		
主体委員会名・講師名等	PTA広報委員会(食品バザーは、PTA常任理事が主導)		

1 概要
 新型コロナウイルスにより、PTA活動の縮小を余儀なくされ、過去3年間文化祭に保護者は参加できなかったが、今年度ようやく保護者の参観が認められ、昨年度はPTA体験講座出展のみだったものが、4年ぶりに食品バザーも実施することができた。体験講座については、昨年度の反省をもとに当日までの準備も当日の運営も広報委員会を中心にスムーズに進め、昨年度以上の盛況ぶりとなった。
 食品バザーに関しては、4年ぶりの開催ということで手探りの準備であったが、常任理事を中心に協力して準備を進め、チケットも前売りが完売して、当日盛況のうちに終えることができた。

2 準備・開催日程
 4月13日(木)：2年生の広報委員で集まって去年の反省から今年度の体験講座の方向性を決める。
 6月8日(木)：第1回PTA広報委員会を開催し、体験講座で実施内容の候補を決定
 6月13日(火)：1・2年生の広報委員で試作体験会を開催し、実施内容を決定
 (昨年通りの「沙カ」づくり、プレスレットづくりとレジによる小物づくりを行うことに)
 7月1日(土)：広報委員と他の委員会の委員も参加して試作体験会を実施
 8月4日(金)：7月1日に参加できなかった委員も参加し、試作体験会を実施
 8月20日(日)：全学年の広報委員を対象に役割分担等の説明や飾りつけの作成、ビースの袋入れ等事前準備
 9月4日(月)：広報委員長と副委員長が学校に行き、体験講座のポスターを掲示
 9月6日(水)：午後1時に常任理事3名が学校に行き、校内に食品バザーのポスターを掲示
 9月13日(水)：当日、午前8時30分に集合。部屋の飾りつけなど最終準備を行い9時から講座開催。
 食品バザー9時30分開始。13時半講座終了。後片付け、教室復元。

3 会場

3L レジ小物づくり	3K ミサンガ、プレスレットづくり	4K 食品バザー
3階廊下	受付	4階廊下

4 活動の様子(写真)



ミサンガづくり体験の受付をしているところです。何色の糸にするか保護者の方が生徒に選ばせています。教室や廊下に、折り紙できれいに飾り付けを行いました。



こちらは、レジによる小物づくりをしているところです。昨年までのキーホルダーやイヤリングに加えて今年度はネックレスをメインに自分たちの好みに合わせて作っていました。



食品バザー「TOYOCAFE」にて、シフォンケーキや飲み物が振舞われました。

5 まとめ

豊明高校のPTA広報委員会は、コロナ禍以前は学校の文化祭に合わせてPTA体験講座の他に、PTA校内研修やPTAバザー、制限リサイクルを行っており、多忙な活動状況でした。コロナ禍を機に活動の見直しを行い、無理なくできるようなスタイルを模索しているところです。今回は昨年に引き続きの文化祭出展で、昨年度の引継ぎを受けてスムーズに開催することができました。委員一同協力して、当日は他の委員会からもご参加いただき、昨年度を超える大盛況となりました。また、4年ぶりに開催した食品バザーについても、ノウハウのない中、常任理事同士で話し合い、大きなトラブルもなく、無事開催することができました。文化祭当日は、われわれ保護者も、我が子以外の高校生と接することで、とても充実した時間を過ごすことができました。

この経験を来年度以降にも生かせるよう、委員一同これからも保護者同士の横のつながりと学校の教職員の方々、子どもとのつながりを大切に、PTA活動を活性化していきたいと考えています。